



ピクウィック・ペーパーズ  
20号19冊

ロンドン チャールズ・ディケンズ著 1836-1837年刊  
縦22.3cm 横13.9cm

チャールズ・ディケンズ  
(Charles Dickens, 1812-1870)はイギリスを代表する文豪の一人であり、ヴィクトリア朝のベストセラー作家である。

本書『ピクウィック・ペーパーズ』(『The Posthumous Papers of the Pickwick Club』)は、ピクウィック・クラブの会長ピクウィリス各地に派遣し、その四名が見聞した出来事をクラブに報告するという形で展開する滑稽な冒険談である。

ディケンズ以前のイギリスでは、文学はまだまだ知的エリート階級の独占物であった。しかし、本書から始まった挿

絵つきの小冊子を安値で販売する月刊分冊という出版形式は、文芸作品を一挙に大衆化した。一八三六年四月から二〇号(一九〜二〇号は合冊)まで刊行され、一冊一シリン

グという安値で、月平均販売部数は四万部に上った。言うまでもなく当時のベストセラーである。号を重ねる毎に需要が増し、各号出版と同時にそれ以前の号も再版された。したがって本書の初版初刷は極めて稀覯になる。掲出の館蔵コレクションも一号から十号までは再版であるが、十一号以降は初版初刷である。

図版は、ピクウィック氏を



含む四名をイギリス各地に派遣することを決議する場面。当時売れっ子の劇画家ロバート・シーモア (Robert Seymour, ca. 1800-1836) によるものである。なお、本館では来年秋に、ディケンズ生誕二百年を記念して「ベストセラー作家誕生」ディケンズ初版本の世界」を開催予定である。

(天理図書館 三濱靖和)

天理図書館のお知らせ Tel:0743-63-9200 <http://www.tcl.gr.jp/>  
◆平日(午前9時~午後5時半) 土・日・祝(午前9時~午後4時半)  
11月3・30日は閉館。  
(本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください)